

第3章 『湖の子』による児童のびわ湖空間認識の変化

3-1 5小学校におけるびわ湖空間認識調査について

3-1-1 調査の概要

本章では2章で述べたように、A（湖南）、B（湖北）、C（山間部）、D（淀川流域）、E（環境学習）の5小学校を対象に、『湖の子』に乗船することによってびわ湖空間の認識をどのように変動するかについて調査する。調査は『湖の子』乗船のおよそ2週間前と2週間後に行なった（表 3-1-1 参照）。

表 3-1-1 各小学校の1・2回目調査日と乗船日（2000年）

	A (湖南)	B (湖北)	C (山間部)	D (淀川流域)	E (環境学習)
1回目調査日	10/10	11/1	10/2	11/22	10/4
湖の子乗船日	10/24・25	11/15・16	10/16・17	12/7・8	10/18・19
2回目調査日	11/8	11/30	10/31	12/20	11/2

調査実施日は、乗船直前に行われる「びわ湖学習」の影響を避けることと、乗船直後の印象だけが大きくなるように配慮した結果である（図 3-1-1）。5小学校を対象に行なった調査の、調査対象人数と有効人数は表 3-1-2の通りである。

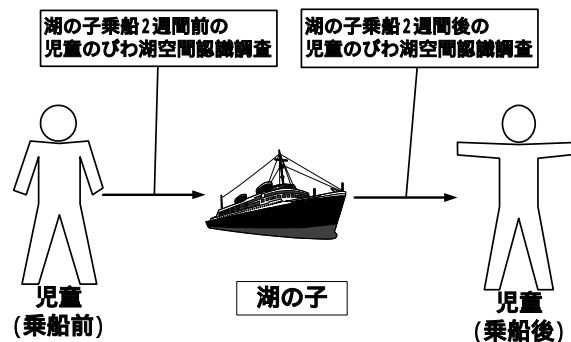


図 3-1-1 『湖の子』乗船前後での調査による、児童のびわ湖空間認識の変化モデル図

調査対象は、各小学校の5年生児童（A小学校は5クラス中、同日に『湖の子』に乗船した2クラス）であるが、以下3つの条件にしたがって抽出した調査結果を有効な表として考察にかける。

乗船前乗船後ともに回答（無記入も含む）した児童

『湖の子』に乗船したこと

小学3年生時の始業式以降同小学校に在籍していること。

表 3-1-2 各小学校の調査対象人数と有効人数

	A (湖南)	B (湖北)	C (山間部)	D (淀川流域)	E (環境学習)	合計
1回目	61人	53人	56人	74人	61人	
2回目	59人	52人	56人	71人	57人	
有効数	54人	49人	53人	64人	54人	277人
のべ有効数	108人	98人	106人	128人	108人	554人

3 番目の条件は、3 年生の社会の授業で地域学習として「びわ湖学習」を実施する小学校があることにより、3 年生時点で同小学校に在籍していなければ、学校で行なわれるびわ湖への学習量に大きな差が出てくるからである。

その結果、全体の有効調査数は 554 人となった。

3-1-2 自由言語連想法による結果

調査で用いた自由言語連想法によって抽出された言語群には、【好むびわ湖空間】と【嫌うびわ湖空間】の 2 通りがある。その記述を単語（連想語）に分解し、カテゴリーに分類してまとめた。（表 3-1-3、3-1-4）この際、各小学校で 3 人以下しか回答が無かった連想語は、びわ湖空間認識としては大きな意味を持たないものとして排除した。

この表を見ると【好むびわ湖空間】はバランスよく連想語が抽出されているが、【嫌うびわ湖空間】では、[人間][人工]カテゴリーに分類できる連想語が少なかったことがわかる。

表 3-1-3 【好むびわ湖空間】の連想語、カテゴリー・品詞分解表

	自然	人間	人工
普通名詞	魚 水 生物 鳥 島	人 生活	船 水泳場・遊び場
固有名詞	日本 北の方 プランクトン 夏 島(固有名詞) 魚(固有名詞) 植物(固有名詞) 水に関するその他(固有名詞) 鳥(固有名詞) 湖岸 波 貝 深層水	釣り 遊び(固有名詞、釣りを除く) バードウォッチング 休み	水道水 フローティングスクール 滋賀県 施設・建築物 他府県 透明度調べ その他フローティング活動 プランクトン調査 粉石けん
形容動詞	きれい 大きい 景色が良い 近い きれいになる 冷たい	自慢できる・有名な 楽しい・面白い 心が安らぐ・心の支えである 気持ちいい 命の支えである	
動詞	プール・海・池とは違う	泳ぐ 遊ぶ 学ぶ 困らない 食べる 大切にする	

表 3-1-4 【嫌うびわ湖空間】の連想語、カテゴリー・品詞分解表

	自然	人間	人工
普通名詞	水 魚 鳥 生物 季節 島	人	ごみ
固有名詞	植物(固有名詞) ブラックバス・ブルーギル 南の方 赤潮・アオコ 湖岸 最近 プランクトン 水に関するその他(固有名詞) 生物(固有名詞)	私	ごみ(固有名詞) 排水 フローティングスクール 水上バイク
形容動詞	汚い 臭い (人、私たちの)責任だ きれいになって欲しい 気持ち悪い 大きい	危ない	
動詞	いない・死んでいる 減っている プール・海・池とは違う	泳げない きれいになりたい・大事にする 釣れない	

また、表 3-1-5 は【好むびわ湖空間】の各連想語の想起率を一覧にしたものである。さらに、表 3-1-6 は乗船前後による想起率の変化を表したものである。同様に、表 3-1-7 は【嫌うびわ湖空間】の各連想語の想起率一覧であり、表 3-1-8 はその増減表である。これらの分析は 3-2-1 でおこなう。